

支部だより

● 関西支部 平成 3 年度材料評価セミナー

鉄鋼協会および金属学会関西支部主催で下記の材料評価セミナーを開催することになりましたのでご案内申し上げます。平成 3 年度は四つの課題についてそれぞれ 1 日の日程でセミナーを開催しますが、基礎コースでは講義と実習を行い、上級コースでは講義を主体とします。

< 1 > 化学的評価（基礎コース）：“金属の腐食と電析の基礎”

内容：金属の腐食は単に美観を損なうだけでなく、破壊事故の原因となる例が多い。本セミナーでは環境に適合した材料の選定、防食技術の基礎知識を修得するために、腐食現象の基本となる電気化学的機構を講義と実験により理解をはかる。

講師：山川宏二（大阪府大）、工藤赳夫（住友金属）

場所：大阪府立大学工学部 8 号館化学実験室/〒591 堺市百舌鳥梅町 4-804

期日：平成 3 年 10 月 11 日（金）/募集人員：30 名

< 2 > X線回折（基礎コース）：“粉末 X 線回折法による相の同定と残留応力測定の実理と実際”

内容：材料の合成、あるいは熱処理によりどのような相が形成されるかを知ることは材料評価の基本のひとつであり、粉末 X 線回折法によれば非破壊的に相の同定および構造を調べられるので便利である。また同じく X 線回折法により材料中に残留する応力を調べることができる。本セミナーでは X 線回折の原理、残留応力の定義と発生原因さらに測定方法とデータ解析について講義と演習により理解をはかる。

講師：田中啓介（名古屋大）、坂谷忠夫（理学電機）、小木曾克彦（理学電機）、佐々木勝成（理学電機）

場所：理学電機（株）/〒569 高槻市赤大路町 14-8

期日：平成 3 年 10 月 24 日（木）/募集人員：30 名

< 3 > 組織観察（基礎コース）：“走査電子顕微鏡による破面観察とその解析”

内容：材料の破断面から得られる情報は、破壊の事故原因の調査に際し残された唯一の直接的証拠を提供する。一方破壊の研究に際しては材料内部における破壊過程を直接捕えられる手段として他の方法では得難い貴重な情報を提供してくれ、ミクロ現象とマクロ現象を結びつける役割を示唆してくれる。したがって破壊原因の調査あるいは新材料の開発には不可欠の手法の一つである。そこでこれらの技術を理論と実験の両面からわかりやすく解説する。

講師：駒井謙次郎（京都大）、城野政弘（大阪大）

場所：兵庫県立工業技術センター/〒654 神戸市須磨区行平町 3

期日：平成 3 年 11 月 29 日（金）/募集人員：30 名

< 4 > 機械的性質と破壊（上級コース）：“セラミックスとその複合材料の信頼性評価と統計的手法の応用”

講演題目と講師：微細組織制御と信頼性/三宅雅也（住友電工）、複合化組織と信頼性/田中功、J. ペッツオティ（大阪大産研）、セラミックスの力学特性の評価/西田俊彦（京都工繊大）、セラミックスの力学的特性の統計的処理/松尾陽太郎（東京工大）、セラミックス機械部品のコンピュータによる応力解析/倉田公雄（石川島播磨重工）、セラミックス機械部品の保証試験/松井実（日本ガイシ）、21 世紀の高信頼性セラミックスを設計する；総合討論/新原皓一（大阪大産研）

場所：大阪大学産業科学研究所講堂/〒567 茨木市美穂が丘 8-1（吹田キャンパス）

期日：平成 3 年 12 月 6 日（金）/募集人員：100 名（なおこのコースはセラミックス協会と共催）

受講料（テキスト代を含む、消費税込み）：1 コースにつき会員 15,000 円（非会員 20,000 円）

なお< 4 > 機械的性質と破壊（上級コース）についてはセラミックス協会員は会員扱いとなります。

申込要領：4 コースすべてを受講する必要はありませんが、全体をまとめて末尾の用紙に必要事項を記入のうえお申込みください。申込みは先着順とします。以後の連絡および受講料の支払い法については後程連絡いたします。

申込先：〒530 大阪市北区梅田 2-3-24 西阪神ビル 合同製鉄（株）内

関西支部材料評価セミナー事務局 山本梢治 TEL (06)346-1054 FAX (06)341-1994

申込締切：平成 3 年 8 月 31 日

（見本）平成 3 年度『材料評価セミナー』受講申込書（一人一枚とします）

平成 3 年 月 日

氏 名				会員資格	会員	非会員
勤務先（在校名）						
連絡先						
Tel			Fax			
受講希望するコースに○印を付して下さい。						
< 1 >	化学的評価（基礎コース）	< 3 >	組織観察（基礎コース）			
< 2 >	X 線回折（基礎コース）	< 4 >	機械的性質と破壊（上級コース）			